

安芸市赤野沖のシラスパッチ網で得られたアカメの成魚 (スズキ目：アカメ科)

長野博光*

Adult Japanese lates *Lates japonicus* (Perciformes: Latidae) caught by
midwater trawl for larval sardines off Akano, Aki City

NAGANO Hiromitsu*

2007年4月27日に、高知県安芸市赤野の沖で操業中のシラスパッチ網により、全長1mのアカメの成魚が混獲され、著者が確認した。この個体は捕獲した漁師の厚意により高知市の桂浜水族館に寄贈された(図1)。木下・岩槻(1996)は本種が土佐湾沿岸全域に生息するとし、また、梅雨時、台風通過後や冬期に沿岸の定置網(50m以浅)に時折入るとしている。著者が居住している安芸市市内の鮮魚店には時々アカメが店頭に並ぶことがある。安芸市の地方名では下山地域でシンチュウメと呼ばれているが、筆者が鮮魚店で購入したアカメのアラの舟盛りには「ぬべ」と札がかけられていた。これらのアカメはシラスパッチ網、あるいはタイ網(地引き網)により混獲されたと考えられるが、これまで安芸市内の現場での確実な記録がなかった。また、高知県内外のアカメの生息地においてシラスパッチ網で本種が混獲されたという学術的な報告はない。

シラスパッチ網漁は中層トロールの一種で、2艘の漁船が並走してゆっくりと網を曳く。谷口ほか(1988)によれば、土佐湾のシラスパッチ網ではカタクチイワシ、マイワシ、ウルメイワシの仔稚魚が漁獲物のほとんどを占める。一方で、シロザメやアカシユモクザメのごく若い個体が混獲されており、また、深海性のサケガシラの成魚が集中的に混獲された年もあった(町田、私信)。これらの魚類に比べるとアカメの成魚の遊泳力はは



図1. 安芸漁協での桂浜水族館の運搬水槽へのアカメ移し替え風景。

るかに強いと考えられるが、本個体が日中に沿岸の中層で漁獲されたこと、定置網によるアカメの従来の捕獲時期と一致しないこと、安芸市内の鮮魚店で販売されるアカメはシラスパッチ網、もしくはタイ網で混獲された個体であることがほぼ確実で、アカメの混獲は決して稀な現象でないことはアカメの行動と生態の解明の一助になると考えられる。

謝辞：本稿作成にあたりご指導いただいた町田吉彦高知大学名誉教授に感謝いたします。また、情報を提供していただいた桂浜水族館ボランティア(当時)の上杉一臣氏、調査にご協力いただいた安芸漁港の皆様には厚く御礼申し上げます。

*〒784-0031 高知県安芸市穴内甲1470
1470 Kô, Ana-nai, Aki 780-0031, Japan

引用文献

- 木下 泉・岩槻幸雄. 1996. アカメ スズキ目アカメ科. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (III). pp. 103-106, 158-159. 日本水産資源保護協会, 東京.
- 谷口順彦・林 幹人・山岡耕作. 1988. 土佐湾シラスパッチ網で獲れる仔稚魚の資源生態学的研究. くろしお (高知大学黒潮圏研究所所報) 特別号, (2) : 95-98.

(原稿受理: 2014年3月11日)